☆☆48 従位接続詞(When)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

1

256,257 のように、「同じ人」が２回、登場する場合がある（接続詞の that、間接疑問文、関係代名詞）。256(2),257(1)のように、2つ文があり、その主語が、両方とも同じ場合は特に、**日本語にしないほうが、自然な日本語になる場合が多い**。右参照。

I am glad that I could do this.
私は、これができて嬉しいです。

when ～ ： 時 、 ころ　　**後ろは必ず、文にする**こと。文とは、「主語＋動詞～」である。

３つのパート（文２つと接続詞）に分けて、前からそれぞれ訳す。

I was young.は、「若い」でも「若かった」でも、どちらでも大丈夫です。

問題２５６　前からのつながりに意識を集中して、順に日本語にしなさい。

(1) Taro was watching TV when I visited him.

太郎はテレビを見ていました。
[　　]時。

(2) When I was young, I had a pretty dog.

私は[　　]、
（私は）かわいい犬を飼っていました。

☆(2) 主語が同じですので、２回目のIは、訳しません。

●英文を作る手順。その１

(例) 私が訪れた時、亜紀は夕食を食べていました。

1 〈私が訪れた時〉亜紀は夕食を食べていました。
2 Aki was eating dinner 〈when I visited her〉.

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　基本
1：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
2：線を英文にします。次に〈　〉を、「**接続詞＋主語＋動詞**」の順で続けます。

問題２５７　〈　〉をつけてから、文を完成させなさい。

(1) 私は 若いころ 犬が好きでした。　dogs　was　liked　when　young　I　I

＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .

(2) 私が太郎を訪れた時 彼はテレビを見ていました。　was　I　when　him　visited　watching

＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .
主語　be 動詞　ing　接続詞　主語　動詞

● 英文を作る手順。その２[接続詞を文頭に書くパターン]

(例) 私が訪れた時、亜紀は夕食を食べていました。

1 〈私が訪れた時〉亜紀は夕食を食べていました。
2 〈When I visited Aki〉, she was eating dinner.

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　応用
1：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
2：〈　〉内を先に書いて、線は後で書きます。

(3) 私が訪れた時 太郎は夕食を作っていました。　making　when　dinner　was　visited

＿＿＿ I ＿＿＿ ＿＿＿ , ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .

定期テスト限定、理科を得意にする方法。教科書に出てくる表現で覚えます。

定期テストは、学校の先生が作るものですので、教科書の表現を使用します。入試対策としては、すべての言い回しを覚える必要がありますが、定期対策は１つです。

あと、学校のワークを頑張ると、かなり実力がつきます。なぜなら、子供たちがワークの問題を解けるよう、ワークをあらかじめ解いてから、授業をしてくれる先生が多いからです。

ですので、定期テストの問題が、ワークからどれだけ出題されるかは学校によりますが、学校の授業をよく聞いてから、ワークをくり返し解くことは、かなりお勧めです。これで、理科の学力が、確実につきます。

「数学が苦手です」のように、大きく広げて苦手だと思わないで。

言葉には力があります。ですので「数学が苦手です。」というように、科目全体を苦手と言わないほうが良いです。こう「事実」を作ってしまうと、頑張ればなんとかなる問題でも、最初から投げ出してしまう気持ちになる可能性があります。もっと細かく分解して、「連立の計算は、得意だ。」のように、得意も認めてください。

出典「ジャガーン」　小学館
原作 金城宗幸氏 漫画 にしだけんすけ氏 より

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆☆48　従位接続詞(before)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

259：動詞の行為者が書いていない場合、２つの文の主語は共通です。
（例）太郎は夕食を食べる前に、彼は手を洗いました。←「彼は」は、いらない。
でも英語にするときは、「主語＋動詞」を２セット、書いてください。

Who makes dinner？（**誰が**夕食を作りますか。）疑問詞の主語は、三人称単数となる。

before ～：前に

259(2)対策：過去の場合、英語の動詞は過去形にします。
（例）私は、テレビを**見る**前に、夕食を食べました。
↑こっち注意！（過去形にします）

３つのパート（文２つと接続詞）に分けて、前からそれぞれ訳す。

問題２５８　前からのつながりに意識を集中して、順に日本語にしなさい。

(1) Before it started to rain, Aki came home.

雨が［　　］、
亜紀は帰宅しました。

(2) I started running before Taro came to me.

私は走り［　　］。
太郎が私のほうへやって来る［　　］。

●英文を作る手順。その１

(例) 私は夕食を食べる前に、テレビを見ました。

１　私は〈夕食を食べる前に〉テレビを見ました。
２　I watched TV〈before I ate dinner〉.

主語がない場合は、もう１つの文の主語と同じだと考えます。

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　基本
１：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
２：線を英文にします。次に〈　〉を、「**接続詞＋主語＋動詞**」の順で続けます。

問題２５９　文を完成させなさい。

(1) 太郎は　夕食を食べる前に　手を洗います。　washes　dinner　before　eats　his　he　hands

Taro ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .

(2) 亜紀は　テレビを見る前に　英語を勉強しました。TV　English　before

Aki ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .
主語　動詞　接続詞　主語　動詞

● 英文を作る手順。その２[接続詞を文頭に書くパターン]

(例) 亜紀は夕食を食べる前に、テレビを見ました。

１　亜紀は〈夕食を食べる前に〉テレビを見ました。
２　〈Before Aki ate dinner〉, she watched TV.

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　応用
１：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
２：〈　〉内を先に書いて、線は後で書きます。
※ before の後、**主語を忘れないで！**

(3) 太郎は　英語を勉強する前に　夕食を食べます。　English　dinner　before

＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ , ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .

定期テストの理科は、まるまる苦手な「電流だけ」という場合があります。

定期テストの場合、テスト範囲が「まるまる電流」、ということがあります。そんなときは、その単元を、できるだけ細かく分解して、それぞれに対策を考えてみます。たとえば…中３の最初の単元「力」について考えてみます。「力」とは、振り子、滑車、記録タイマーなどです。

理科の１分野は特に、分解して対応してほしいです。

中３物理単元「力」を、分解してみます。

1 語句（分力、合力、等速直線運動、慣性）、
2 作図（分力・合力）**3** 平均の速さ、
4 記録タイマー、　**5** 滑車、
6 斜面を下る台車の運動、
7 エネルギー（位置エネ、運動エネ）

のように、単元を細かく分けることで、「中３物理、難しいや、無理…」と、ひとくくりで悩むことを防ぐことができます。

そして１つひとつを、よくよく見ます。
「語句はできそうだ」「記録タイマーは得意だ」「エネルギーと滑車は苦手だ。後回し！」のように、強弱をつけて勉強します。つまり、大きく考えると苦手に思えてしまう単元でも、細かく切ることで、「なんとかなりそうだ」と思えるところが必ずあります。このような「分解作戦」で、理科と向き合ってみてください。

出典「ジャガーン」　小学館
原作 金城宗幸氏 漫画 にしだけんすけ氏 より

● 泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆☆48 従位接続詞(after)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

主語を日本語にするとき、「～は」なのか「～が」なのか、迷うことはありませんか？私も、このプリントを作っているとき、「どっちがいいかな？」と考えて、悩むことが、たくさんありました。そして今も「これだ」、という結論が見つかりません。→

私は、**亜紀は**犬を飼っていると知っていた。
私は、**亜紀が**犬を飼っていると知っていた。

after ～ : 後で　❀after 以降の動詞は、過去形のように訳す。

現在の文でも、過去形のように訳します。
（例）私はテレビを**見た**後で、夕食を食べます。
↑ 過去のように訳します。

❀３つのパート（文２つと接続詞）に分けて、前からそれぞれ訳す。

問題２６０　色に従って日本語にしなさい。ただし、主語が同じならば、２回目は日本語にしないこと。

(1) After Taro came home, he cooked dinner.

太郎は[　　]した後で、
[　　]。

(2) Aki begins to eat dinner after she watches TV.

亜紀は [　　]。
[　　]後で。

● **英文を作る手順。その１**

（例）亜紀は夕食を食べた後で、お茶を入れました。
1　亜紀は〈夕食を食べた後で〉お茶を入れました。
2　Aki made tea 〈after she ate dinner〉.

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　基本
1：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
2：線を英文にします。次に〈　〉を、「**接続詞＋主語＋動詞**」の順で続けます。

問題２６１　文を完成させなさい。

(1) 亜紀は　夕食を作った後で　テレビを見ました。　dinner　TV　after　watch　eat

Aki ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .

(2) 亜紀は　夕食を食べた後で　英語を勉強します。　dinner　English　after　study　eat

Aki ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .
主語　動詞　接続詞　主語　動詞

● **英文を作る手順。その２[接続詞を文頭に書くパターン]**

（例）亜紀はテレビを見た後で、夕食を作りました。
1　亜紀は〈テレビを見た後で〉夕食を作りました。
2　〈After Aki watched TV〉, she made dinner.

接続詞で、２つの文をつなぐ手順。　応用
1：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
2：〈　〉内を先に書いて、線は後で書きます。
※ after の後、**主語を忘れないで！**

(3) 亜紀は　テレビを見た後で　ケーキを食べます。　TV　cakes　after

after は、先頭が多いです。

＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿, ＿＿＿ ＿＿＿ ＿＿＿ .
接続詞　主語　動詞　主語　動詞

本当に克服すべきこと。それは、「苦手」ではなく、「欠点」と「実力不足」です。

ある中３生が、$9(a-2)^2-(3a-1)^2$ という計算を解いていました。途中、後ろで見ている私に気づき、「先生、ここまで合っていますか？」と、声をかけてきました。それが、$9(a^2-4a+4)-9a^2-6a+1$ です。私は言いました。「これから間違えるよ」と。
塾生「えっ！これから？え～！！」とリアクション。塾長「ぎりぎりアウツ。これでいいの？本当に？何か忘れ物ないかな。」

$-(3a-1)^2$ を展開すると、$-(9a^2-6a+1)$ と、カッコが必要ですよね。計算に集中してカッコの存在を忘れることって、あるあるです。でも、カッコをつけ忘れちゃうこれ、ミスでしょうか。ミスというより、クセと言うか、ズバリこれ、実力不足です。

掛け算九九の3×3を8と言うのって、ミスとは言いませんよね。だから私は子供たちに、「それ、ミスじゃなくて、実力不足だよ。ミスという言葉で片づけるな」と、その日の調子が良さそうな子には、ちょっと厳しめに言うことがあります。それくらい大切なところです。

こういう欠点を克服するポイントは、「本当にこれでいいのかな？」と、自分自身に問いかけ、「確認しながら進む」ことです。きっとその「ミス」減るはずです。こう考えると、勉強でもスポーツでも、克服すべきは「苦手」ではなく、きっと「欠点」であり「実力不足」なところです。

出典「ジャガーン」　小学館
原作 金城宗幸氏 漫画 にしだけんすけ氏 より

● 挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

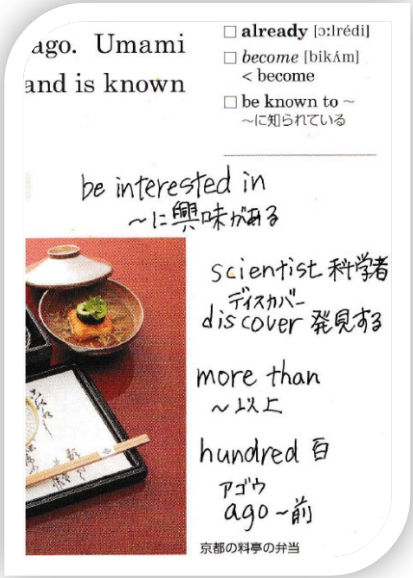
☆☆48 従位接続詞(if)

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

262(2), 263(1)(2)対策：if 以下の文は、未来の事でも、現在形で表します。
（例）If it is fine tomorrow, we will play tennis.
（もし明日晴れたら、私たちはテニスをします。）

時や条件を表す接続詞以下の動詞は、未来のことでも現在形で表す。

if ～ ：もし～ならば　※未来の文でも、if 以下の動詞は、現在形で表す。



✿3つのパート（文2つと接続詞）に分けて、前からそれぞれ訳す。

問題262　前から順に日本語にしなさい。　H20 年千葉県

(1) Let's play tennis if you are free.
テニスをしましょう。
[　　] あなたが[　　]ならば。

(2) If I come to Japan again, what is the best season to visit ?
もし 私がまた日本に来る [　　]、
何です（か）。[　　]は、訪れるのに。

●英文を作る手順。その１（その２は、(2)の演習のみとします。）

（例）もし亜紀が忙しいならば、 私が夕食を作ります。
1　〈もし亜紀が忙しいならば〉私が夕食を作ります。
2　I will make dinner 〈if Aki is busy〉.

接続詞で、２つの文をつなぐ方法。　基本
1：日本文の、述語を含めた文に線を引き、残りの語句を、〈　〉します。
2：線を英文にします。次に〈　〉を、「接続詞＋主語＋動詞」の順で続けます。

問題263　文を完成させなさい。

(1) もし久美が忙しいならば 私が彼を訪れます。　busy　him　if　visit

I will _____ _____ _____ _____ _____ _____ .

(2) 亜紀は 英語を勉強すれば 先生になれるでしょう。　✿can が「省略↓されている」と考えます。

_____ _____ _____ English , _____ _____ be a teacher.
接続詞　主語　動詞　未来

無生物主語構文　主語が「人以外」の場合＋ make などの一般動詞～.
「のおかげで, のせいで, すれば, ために, なので」と、接続詞を使わずとも、接続詞を使っているかのように表現することができます。
（例）Practicing every day will make you a good soccer player.
毎日練習することは　A　B
直訳…毎日練習すれば、あなたは良いサッカー選手になれますよ。

make A B：A を B な状態にする。
動名詞が主語になり（文頭に来る）make が続いていたら、この構文だと思ってください。

大切な考えです。

take medicine：メディスィン お薬を飲む

(3) If you take this medicine, you will get better.
＝ This medicine will _____ you better.

get：～になる。
better：well（よく）の比較級。

出典「ジャガーン」　小学館
原作 金城宗幸氏 漫画 にしだけんすけ氏 より

● 不安なのは、勝つ可能性があるから。PK をはずしたのは、蹴る勇気があったから。

なぜ長期休みの「頑張るぞ」は、うまく行きづらいのでしょうか。

長期休み中、なかなか勉強を頑張れない子供たちには、ある共通点があります。それは、「苦手を頑張るぞ」と思ってしまうところです。

たしかに苦手を頑張ることは、素晴らしいことです。けれども、「苦手の克服」には、たくさんの時間とエネルギーが必要です。克服して成果を出せるまでには、さらに時間とエネルギーが必要になります。

その貴重なエネルギーを、「少し頑張ればできるようになりそうなところ」に使ったら、今よりたくさん勉強が進みそうだと、思えませんか。

出典「アオアシ」
小林有吾氏 小学館 より

４８従位接続詞（When,before,after,if）［解答］［解答］従位接続詞（When,before,after,if）４８

問題２５６ (1)私が彼を訪れた　**※慣れてきたら、「彼を」を言わない。2回目ですので。**
(2)若いころ（若い時）

問題２５７ (1)I liked dogs when I was young (2)Taro was watching TV when I visited him
(3)When / visited Taro / he was making dinner

問題２５８ (1)降り始める前に
(2)始めました / 前に

問題２５９ (1)washes his hands before he eats dinner
(2)studied English before she watched TV
(3)Before Taro studies English, he eats dinner

問題２６０ (1)帰宅 / 夕食を作った
(2)夕食を食べ始める / テレビを見た

問題２６１ (1)watched TV after she made dinner (2)studies English after she eats dinner
(3)After Aki watches TV, she eats cakes

問題２６２ (1)もし / ひま (2)ならば / 一番良い季節
(2) について：what となっていますが、「いつ」と尋ねたほうが、自然な日本語になります。が、それは後付けです。基本は語句を、登場順に理解することを、徹底しましょう。また、what is は、「何ですか？」と質問文である可能性が非常に高いですが、違う場合もあります。よって、「何ですか？」と決めつけないでください。よって、問題文では、「か」をカッコしました。とは言え、90%「何ですか？」ですので、今お話ししたことは、参考程度にとらえて大丈夫です。

問題２６３ (1)visit him if Kumi is busy (2)If Aki studies / she will (3)make
if 以下の動詞は、未来の文でも現在形になります。よって(1)は is、(2)は studies になります。
(2)の日本語が「先生になれるでしょう。」ですので「未来＋可能」と言えます。will と can は、ともに助動詞ですので、一緒に並べることができません。よって、will be able to にします。
※今回は、紙面の都合で、重要度の低い「be able to」を省略しました。

(3)This medicine will make you better.（この薬のおかげで、あなたは元気になります。）
「この薬を飲めば」も可です。なぜなら、「この薬で良くなる」ということは、ほぼ飲むことが確定だからです。国語で言うところの「行間を読む」ということです。

※make A B：A を B の状態にする。という最重要文法の一つです。確実に覚えてください。

visit ビズィットは、
「～を訪れる」という意味です。
転じて、「人の名前」が続くときは、
「～のおウチに行く」と、
訳すこともできます。

● 信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。